明治四十一年十二月十三日第三種郵便物認可　（日刊）日曜日及祭日の翌日休刊　明治四十二年三月廿八日（日曜日）　第六十九號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

韓國農業啓發に就ての側面觀（三）

度支部司稅局長 鈴木穆氏談（中央農會報所載）

扨金融組合を活動せしめて一方技術的施設經營と相待ち韓國農業の啓發に當らんとする余の意見は大要前陳の如くなるが此韓國に驛屯土なるものあり此事に就き一言すべし之は昨年宮內府より我度支部の所管に移りたるものにして即ち國有の地所なり其總面積は十万三千百七十九町〇四畝にして沓に於て三万六千十二町六反五畝畑に於て六萬七千六十六町三反九畝を算す此內東洋拓殖株式社會へ交付の分一萬千四百町步なるも尙且九萬千七百七十九町〇四畝の殘餘面積あり即ち余は職務上に於て此面積を有する大地主なり數多の小作人を有し年々多大の賭租（或は賭錢）を小作人より徵す小作料及び小作人と地主即ち政府との關係前に述べたる已大と已大さの間に於けると大差なくして小作料の一定額なく又小作人の某して何者なるや之を知るに苦む只だ例の舍音ありて代表的に動作し居れり賭租即ち小作料徵收額の如き年々增加し來るを見るが斯く年々增加し來るは如何なる理由に基くか一見奇異の感を免かれざる處とす然れども能く其內容に就き舊來の形跡を見れば直に首肯し得べき現象あり其現象とは果して夫れ何ものなるか由來驛屯土の賭租なるものは滿地白體々昨今吾人の日夕觀る處の氷の其物に異ならず製氷者否小作人の手より順次展轉各所の關門を經て國庫（從前は宮內部）に到達する迄の間に於て層々融解終に著しく其量を減ずるの事實あり是れ豈に一驚を喫すべき奇現象にあらずや之に對し余輩當局者は種々の方法に依りて此減量の起因を除却することに努めつゝあり是れ其年々賭租の增加し來る重なる原因なりとす今最近に於ける賭租額增加の割合を擧ぐれば

隆熙元年　五十五萬石
隆熙二年　七十五万石
隆熙三年　百廿万石（豫算高）

と云へるが如き割合にして本年の豫算額は正に一昨年の倍數以上に達せり以て從來伏在せる弊害の如何に大なりしかを知るに足るべし而して吾人は極めて周到なる調査法の下に小作料たる賭租率を一定し尙進んでは小作人の認定をも斷行せんとす併し此小作人認定の事に至ては未だ俄に之を斷行することは能はざるの事情あり若し夫れ輕卒に其認定をなさんか中間舍音の介在あり許多の歲月間蟠結せる一大弊根ありて存す快刀直に之を斷るの擧に出でんか快は則ち快なりと雖爲めに眞正の小作人……良小作人を逸することなきやも測り知るべからず從て認定の趣旨も併せて沒了せられんことを憂ふ故に本件の斷行は其方法の如何に關し未だ研究問題たるの域に在り要するに職務上の一大地主たる余輩は一般農民の誘導啓發に努むると共に此驛屯土小作農に向つても亦多大の趣味と熱心とを以て力を盡さんとす公務多忙細說の閑なきも概要余が農業啓發に關し懷抱せる意見斯の如し終りに望んで余が技術的機關と吾人の施設たる金融組合等の機關と聯繫を取り兩々相提携し以て韓國農業の發達に盡瘁せんことの希望を農務局長にして貴會の首腦たる中村氏に通せられんことを切望す云々（完）

●瑞光餘影（四）

魚遊痴史

▲韓皇には二日午後四時開城驛に御着此日天空一片の雲なく快よく晴渡りて暖風徐ろに幾百旒の彩旗を飜へし停車場より南大門迄道路の兩側十數丁の間奉迎者を以て十重二十重に人垣を築き前古未有實に開都以來の盛況なりしと

往古なつかし御幸を松の
舊都稀めく今日の光榮

▲陛下の御車は徐々と停車場に御着ありて奉迎人一度に万歲を唱へたる折しも停車場前の橋際に在りし群集動搖立たる有樣に余は何事の起りしならんと近づき見れば拜觀中の一韓婦が俄かに產氣付て玉の如き男兒を生み落せしなり此生兒の前途こそ多幸多福ならん

群集が萬歲唱ふる中裡で
產聲揚げたる兒の果報

▲此の夜提灯行列が永壽山に登りし時の光景は實に筆紙に盡し難く幾千の燈火が或は高く或は低く坂路を攀るの狀螢々として恰も一條の火繩を引たるが如くヤガテ一同山頂に達するや遙かに行在所の方に向ひて萬歲を唱へしが其發聲の度每に手にせる提灯を高く捧げたる美觀は壯絕快絕と云ふの外かなし

赤誠きこゝろの提灯捧げ
韓皇をことぶく永壽山

文苑

雨の夜

靈弦生

熔爐はふたゝび燃たず若人の返へらぬ夢を悔ゆる宵かな
亡き妻の亡骸おさめて花瓶のつめたきに泣く人もあるべし
乙女精ぐ眞精米なかに一粒の惡し米を撰る人を嘲けれ
誰ぞ狠藉我が胸裡の一輪花しだきて行きぬ高う笑ひて
炎いま母が小室の北に迫る放ちし鳩は夜をいづち行く

俳句

●神の森●

むら

花柳街の女なるらし朧月
何の香の流れて朧なる
朧夜や鈴の音ゆく神の杜
掛られた謎解かねし夜や朧
徒らに人の跟逐ふ夜や朧



佐倉宗吾（四十）

眞龍齋貞水講演

腰刀を佩して、ズッと入つて來た忠藏、もう顏の色も變つて居ります　忠「御免下せゐまし」宗五郎が出て來て　宗「マア、マア此方へ御通り下さい　忠「イヤ斯うや宗五郎殿、御出下されたか、御免下せゐ」と一室へ通る、夜中ながら火鉢を持出す、茶などを汲んで來い　忠「イヤ何うも、夜分遅くに出まして、何とも御氣の毒であるが、大勢の人のためで、是非なく參りましたが、イヤ何うぬ宗五郎どん、御話しするのも、實は何事から云つて宜いか分らぬ位、また此度、ア忠藏どん、先頭から致して、城代玄番の計ひにて、此御領分の百姓衆を苦しめること、一通りならぬ事で、御先代が御仁政であつた丈に、尙々非道の有樣が、眼に立つて御領分を、先達ら三浦甚藏どんが、態々枝に縋つて來なすつたゆゑ、其御仁心に感じて、共に將門山へ登り、御領分一同の百姓衆から鎚つて貰ひ、ヤレ嬉しやと思ふ間もなく、また此度の運上沙汰、困つた事が出來たど、實は心配してゐる所へ、お前さんが御來になつたから、兎に角さわぎ立つた所が仕方がない、私は是から、將門山へ集つて居る、一同の村役人へ對し、私だけの意見を述べて見せせう　忠「ハア、早速御承知なすつて此樣な有難い事はごせゐませぬ是もあれも皆な、一同のためでごせゐますから希かマア御迷惑でも出てくらつせらうれちや早速御同道いたしませう　忠「イヤもう江戶の殿樣は、何にも御存知あるまいか、非道の役人が、この御國表に驚るため城代堀田玄番の惡計に懸り、一同印形を取られ、向う三年間、二割增の運上取立を承知しなければ、如何な目に逢うか知れないから、是非なく皆な判を捺して、さて小前の者に、委細言渡した所が、再び起る將門山のあの騷ぎ、貴下ばかりは先見を以て、儀右衛門どんを代に寄越さつしたに依て、此公津村だけは何の仔細もねゐけれど、私等小前の者に對して相濟まぬ、又お前さんにも顏向けが出來ねゐ、併し其樣な事を云つてる場合ぢやねゐ、此上はお前さんに縋るより外、仕方がねゐのだが、私より外に、賴みに來る者がねゐから、大勢の者に代つて、私が御賴みに上りました、希か御迷惑ではあらうが、將門山まで登つて、智慧を貸してくらつせゐ」宗吾は千葉村の忠藏の容子を覩ると、顏の色が變つてゐる、斯りや大勢から賴まれたので、此宗吾が不承知でも云つた時には、大に決心して居る所があるかも知れないと、思つたから　宗「イヤ銘々が此樣な難儀をするのでごせゐます　宗「イヤもう御同樣、實に御察し申します」と妻のおれみきを喚び　宗「おれみきや」　美「ハイ」　宗「ちよつと將門山まで、忠藏どんと一緒に往つて來なければ成らぬ、どうせ今夜は歸る譯には往かぬから、留守の締りを嚴重にしてくれろ、又御老母を、能く御世話申して下されよ　美「畏りました、御苦勞樣でござゐます……忠藏殿さぞ御迷惑でございませう　忠「イヤもう、迷惑どころぢや、でせゐませぬ、是も皆な大勢のためでごせゐます、かマア、暫く旦那殿、御貸り申します」希と宗吾の支度も出來ましたから、一緒に伴れ立つて將門山へ向う、途上四過の容子を覩ると、チラホラ、彼方の田甫、此方の田甫へ、灯提の光が微かに見ゐる　宗「ア、今夜更に、おれも皆な將門山へ急ぐのか」と宗五郎は座ろに哀れを催し、實に滲氷を踏むの思ひにて、兩人が將門山に來ると篝火を焚いて、ワイ、ワイツ、ワイ、ワイツと云つて居る、ア、大變な事だと思ふて能く見るさ、孰れも村役人が一同を制します る、百姓一同は眼の色をかへて「ハア既う斯う成りやだめだ、此の御領分の百姓が皆な打死ぬと覺悟したら、あんでも無い事だ、佐倉の城へ押してつて、打破はして仕舞へ」と云つて勇んで居る者がある



京城新報

無責任なる答辯

日本官吏の非行を認む

帝國議會の質問に對する政府の答辯は概して要領を得ざるもの多しと雖も、今期議會に於て大竹代議士が統監政治の質問に對する桂首相の答辯程不得要領なるは稀なり、勿論桂侯として元老たる伊藤公に對する情誼として或は統監政治の失政を公然認むる能はざる事もあらむ、若し夫れ然りとすれば國家の公事を私事の爲に犠にするものなり、余輩は一國の首相たる桂侯に此事ありと信ずる能はざれども、其答辯の如何にも鷺を鳥と辯ずる如き趣きあるを如何せん

試に玆に桂首相の答辯を掲ぐ可し

一、帝國政府の韓國保護方針は日韓兩國現在の關係を形成せる各種の協約を誠實に實施するにあり就中明治三十七年二月二十三日調印の日韓議定書同三十八年十一月十七日調印の日韓協約同四十年七月二十四日調印の日韓協約は其の最緊要なるものなり統監は右協約を基礎として帝國政府の對韓方針に從ひ保護の實を擧げんことを期す

一、帝國政府は韓國の地方行政不統一に陷りたるものと認めず曩に收稅制度及司法制度を改革して地方行政官の職務により司法及徴稅事務を分離し別に相當の機關を設け之を取扱はしむることゝなしたる結果從來韓國地方行政の宿弊たりし賣官誅求公金未納等を根絶することを得たり

一、帝國政府は韓國政府の發する法令は何れも韓國上下の狀勢に適し韓國統治上必要なるものと認む

一、韓國に於ける日本官吏の官紀は甚だ弛廢せりといふは事實にあらず多數の官吏中には時に或は一二非行なきにあらずと雖も之に對しては直ちに嚴重の處分を加へ毫も假借するところなし

一、統監府は徒に言論の自由を拘束せず新聞雜誌の論調、日韓の交誼を害し韓國の治安を妨害する場合には法例の規程に從ひ相當の制裁を加ふる他新聞記者及通信員を買收若しくは壓迫し其他總ての言論を拘束して韓國の眞相を蔽したることを斷じてなし

帝國政府の韓國保護方針は素より現存せる議定書及協約を基礎として保護の實を擧るは勿論なりと雖も、伊藤公が三年有余に亘りて爲せる所のものが現存協約の精神を發揮せざる爲に世人は其方針を疑へり、現に余輩の如きは其方針が協約の眞精神に戻るものありと思ふて具さに指摘して之を伊藤統監に質したるも更に其辯解を與へず、而して帝國議會が之を質問すれば以上の如く漠然たる答辯を以てす、政府の不親切も玆に至りて極まれりと云ふべし、

韓國地方行政の不統一に就ては政府は全然之を認めずと云ふ、強辯も甚だしからずや、現在韓國の地方行政は刷新の實吏に擧らず韓人觀察使は長官たるの鍵鑰を掌握して書記官等の意見行はれざる所今尚は多し、韓國の宿弊たる賣官誅求公金未納等は根絶したりと云ふも、事實は決して然らず、今尚は其弊谷所にあり、桂首相が斯の如き答辯をなすは全く其實際を知らざるが爲なり、事實を審糺せずして斯る強辯を爲す、之れ世の所謂盲目蛇に怖れざるものなり、法令雨下に就ても現下の狀勢は韓國統治上必要なりと云ふ、之れも亦其實相を知らざるが爲に斯く思ふに過ぎず、而して玆に注意すべきは**日本官吏の非行**なり

之に就ては全然なしとは否定せず「日本官吏の官紀は甚だ弛廢せりと云ふは事實に非ずと雖も多數の官吏中には時に或は一二非行なきに非ず」と、此事に就ては如何に實際を見ざる桂侯と雖も全然**非認**する能はざりしと見へたり、玆に於て**帝國政府**は多少の**非行官吏**あるを**公認**したるなり、而して此等の非行者は直に嚴重の處分を加へ毫も假借する所なしと然れども余輩の見る所に於ては未だ此等の非行者に嚴重の處分を加へたるを見ず、惟ふに今後に於て之を處分し官紀を振肅せんとするにある乎、言論の自由拘束に就ては統監府の口調其儘にて日韓の交誼を害し韓國の治安を妨害する場合には法令の規定に從ひ相當の制裁を加ふる外新聞記者及通信員を買收若しくは壓迫して韓國の眞相を蔽したることなしと、何ぞ夫れ事實を無視せるの答辯ぞや、現に發行停止若しくは禁止したる新聞の記事を見れば一目瞭然たるなり、其他御用通信なるもの絶對になしと斷言し得る乎、鷺を鳥と誇稱するとは斯る事ならんか、要するに此答辯は實際桂首相の腦中より出でたるものに非ざるべし、桂首相にして統監政治の現狀を目撃せば斯る答辯は爲し得られざらん、果して然らば此答辯は何等の價値なきものと斷ずるも決して早計にあらざるべし、然れども此答辯の中に於て注目すべきは韓國の保護方針に於て、統監は協約を基礎とし帝國政府の**對韓方針**に從ひ**保護**の實を擧げんことを期すとあり、之に依りて之を見れば**統監政治**は**伊藤公**と雖も**政府**の**指揮**に從はざる可らず、然らば桂首相たるもの宜しく現下の統監政治を實際に目撃し其弊のある所を洞見し以て鮮明なる方針を確立して眞面目に保護政治の實蹟を擧るの決心なかる可らず、余輩は遂に桂首相に此誠意を致さんとするものなり、

外報一束

▲米國の茶稅反對 米國大統領タフト、國務卿ノックス、大藏卿マックヴイー上院財政委員長オルドリッチの諸氏相集り新關稅に關する會商を催したるに其席上オルドリッチ氏は茶稅の實行し難きことを辨せり

▲英皇通信便設置 英國皇帝の郵便遞信を運ぶが爲めにピアリッツ、ドーヴァー間に飛脚便設けられたり

●一昨開會の仁川民會 仁川第六民會は豫報の如く一昨日午後八時[illegible]が出席議員は田中、竹田津、市川、八田、穎原氏にして四十一年度追加豫算は何等の異議なく通過し報告第四號第五號即ち所轄仁川理[illegible]秘密とすべきや否やに就き多少の討議を見が結局秘密會に附することに決し午後十一時頃散會したりと

●[illegible] 仁川民團議員は改撰後未だ一度も懇親會を[illegible]り八阪樓に於いて懇親會を開く筈なりと

●仁川の來往一束 [illegible]東洋拓殖會社員、大番頭省、[illegible] 一昨日仁川に入港せ[illegible]じく上陸せる石川縣事務官長田鉎太郎氏は旭屋旅館に投宿せり又同日入港せる[illegible]山丸[illegible]より以前の如く[illegible]したる旨告示されたり

●大同工事[illegible]

▲英獨の海軍協定 獨逸半官報「ケルニッシエ、ツァイツング」は曰く英國政府は海軍制限に關して協議を遂げたき旨內々言ひ入れし所ありしも獨逸は之を斥けて斯る協定は殆ど不可能なり又英國は何時にても海上權を制し得る力あれば獨逸に於ては到底之と競爭せんと欲するが如き野心毛頭之なき旨を以て英國に答へたりと

▲南北滿洲と英國 英國下院に於て政府は述べて曰く哈爾賓に於ける露國政府の行動と法庫門鐵道敷設に對する日本の反對とは性質を同うせるものに非ず日本が滿洲に於て領土管轄權を獲得し又は獲得せんと努力しつゝありと信ず可き理由なしと

▲淸國の大官黜陟 官吏の成績調査の結果慶親王、世續、張之洞、鹿傳霖、孫家鼐、錫良、楊士襄、端方、[illegible]巡撫袁樹勛等は賞詞を與へられたるに獨り袁の股肱たりし民政部右侍郞趙秉鈞のみ凡庸なりとて退職を命ぜられ[illegible]派にて現倉場侍郞たる林紹年其の後任に轉じたり

▲ハ氏歸朝の要求 淸國政府はサー、ロバート、ハートに打電し一年の賜暇終了すべきを以て直に淸國に歸らん事を請求す

▲淸獨の條約問題 淸國政府は伯林駐劄淸國公使に對し三年以前中止となりたる淸獨通商條約改正に就き獨逸外務省の意向を確むべき旨訓電したり

▲露領沿岸の禁航 露國商務省は本年十月十四日より極東の露國領海に於て外國旗を揭揚せる汽船の沿岸航海を禁止せんとする計畫あり然れども黑龍江省總督は千九百十三年に至るまで若干の外國汽船に對して除外例を發布するを得るものとす而して韓國及びオリガ灣より來る帆船は差支なきも納稅の義務あるものとす

雜報

●驛屯土の標準價格(京城通信社所報) 東洋拓殖會社が引繼ぐべき驛屯土の標準價格に就ては疑きに報ずる所ありしが尙又其の筋の當局者の語る所によれば米價は地方に依りて差異あるも要するに粗米一石は一圓五十錢乃至三圓五六十錢にて之れを四步止りとすれば大差なしとの事なるが東拓の理事井上孝哉氏は曰く會社が引繼ぐべき驛屯土の標準價格なるものは今日之れを明言する事能はず引渡しを爲す者と引渡を受くる者とは利害關係に於て固より一致せず會社は最も善き土地を撰擇して引繼ざるべからず之れに改良を施す時は或る論者の言ふが如き紀變を要せず目下社員は各地に出張して調査中なれば其內引繼ぎに着手することとなる可しと云ふとて要領を得たる答辯を爲さざりし

●殿陵祀員規程の制定 從來歷代殿陵には令、參奉の二職員を置きて祀祀を掌り殿陵を守護しつゝありたるが往々弊害を生ずることあるを以て內部は今般歷代殿陵祀員規程を制定し一殿陵毎に祀員二名を置き內部大臣及地方長官監督の下に祭祀の施行殿陵の守護に任せしむる筈

●徵兵檢查壯丁の心得 四月一日より五日までに行はるべき徵兵檢查に關し壯丁の心得べき事項は左の如しと

一、壯丁は單獨營門內に入るを禁ず依て示定の時間內に營門外に於て檢査事務員の指示を受くる事

二、傳染病の恐れある患者及該病者同居し居りたる者若くは傳染病地を通過し來りたる者は一般壯丁と混同せざるを右に就ては營門外に檢査事務員を派遣して其の處置を爲さしむ

三、身體を淸潔(可成理髮入浴し耳垢を取る事)にして衣服襦袢等淸潔のものを着用し特に褌の淸潔なるに注意する事

四、飲酒し來るを嚴禁す

五、檢査半途にして無斷退場を許さず

六、貴重品(時計金錢の類)は可成檢査場に持參せざる事

◎三稅施行區域の勅令 三稅施行區域は之れを或る範圍迄外國人に賦課すべしとの事は其筋の意見なる旨既に報導したるが之れに關する區域の取極、市街地の指定(之迄市街地の家屋には家屋稅を課せざりしに依り其市街の意)は兩三日の內勅令を以て發布せらる

●東拓概論 其の二

無名生

危地に入るは元より拓殖事業本來の性質なり危險と困難は常に其目的に附隨するは明白の事實にして、其れを虞り、是れを恐れては、遂に爲すなきに終らざる可からず、否初めより拓殖會社を創設せざるに如かず故に吾人は其目的の至難にして奏效の遠かならざるを歎ぐし爲めに悲觀的の言辭を弄するにあらず、寧に危險は會社其者の組織の中に伏在して自から危險を有せざるにあらざるかを疑ひ大に此點に付て充分の考量を煩はさんとするものなり吾人は先きに外觀を比喩して軍帽燕尾服にして草鞋を穿ちたるものとなせり、如何にも通常近世人の服裝としてはあまりに突飛なる紛裝にして何人も實際に此珍裝を爲せる巨漢が横行するを見れば直ちに指笑を爲すを躊躇せざる可しされど誠に是れ日本式拓殖風の異裝にして日本の實業家、政治家等の後秀なる頭腦より割り出されたる製產物なれば敢て殊更に滑稽を裝ひたるにあらざるは明かなり苦衷十數閱月三變して遂に最も適當の粉裝として現はれたる此變態は全く現日本の境過程度の反映として眞面目なる表現と見ざる可からず、步む可く草鞋は日本古來の獨特の道具なり、着る可く燕尾服は日本が西歐文明に則りて長足の進化を爲せる表彰なり頂く可く軍帽は日本が其進化と其風尙の結果として世界より贏ち得たる贊賜なり、草鞋は以て襤褸なる日本の山野を跋涉するに適す可く、燕尾服は以て半歐化したる都人士の好尙に適す可し獨り軍帽に至りては吾人密かに日本の爲めに世界的の賞讃を博したる他の方面に之を悲むを以て事業を大陸の一角に經營する東拓の冠り物としては何等批評するに辭なきのみならず元より器用なる邦人の性格としては軍帽を頂くの人必ずしもシルクハットを頂かざるに非ず又必ずしも中折れハンティングを冠らざるにあらず變に應じ機に處するの道必ずしもこれを批評すべきにあらざるも吾人は寧ろ東拓其ものゝ爲めに却て此變通の才なきを希はんとす、東拓の首腦幸に永久に軍帽を脫せざれ、只夫れ此點に關しては一見融通の利く可き彼の燕尾服を纏ふ者は由來徒に固執業務に流れて機宜を失するの謗なきにあらず、此二者の調和は誠に以て東拓が吾人の疑義に對する說明の第一要點なり、況んや穿つに草鞋を以てして凸凹たる山地を攀ぢんとし砂礫飛ぶ平野を行かんとす、山に虎狼あり野に狐狸あり行路難、行路難、誰れか足痛くして進む可からず鐵脚能く此痛痒を忍んで五體の自由を得せしむるもの何處にかある是れ東拓が吾人に說明を要する第二の要點なり

元より拓殖事業の成果は實例より徵すれば少くとも廿年卅年を要す東拓が以上の問題を解決するは常に其實行の上に見るより策なしと雖も吾人は彼れが發足の第一步に當つて謹んで此警告を與へんとす(完)

●韓商救濟資金

(韓商業會議所建議)

昨舊年末より本年に掛け韓商界の不振著しく從て金融逼迫の折柄淸國商人等が同盟して韓商人等に向つて一切延取引を爲さゞることに決議し之を勵行したれば從來淸商との延取引に依つて營業上の便宜を得つゝありたる韓商等は不意の打擊を受け融通杜絕したる結果多くの不渡手形を出し之と直接の關係ありと云ふには非ざるべきも手形組合よりは多數の除名處分者を出し風聲鶴唳一犬虛を吠へて万犬實を傳へ今にも鍛路に恐慌の來るべきが如き有樣となりしを以て韓實業家中の重なる人々等は此危險なる狀態を看過すべからずとして過日漢城商業會議所より金一百萬圓を韓商救濟資金として貸下げんことを政府に建議したるなり聞くところに因れば政府は目下韓商の實狀に付調査中との事なれば早晚會議所の建議に對し何分の措置を爲すこととならんが今日韓商の受け居る金融上の困難は一百萬圓貸下げ位の一時的救濟にては到底除却し得べきものにあらずして根本的救濟の途を得ざれば全体の恢復は到底六ケ敷かるべしと云ふ

●掛賣廢止に就て

(某淸國商人の談)

在京城の淸國商人等が同盟して韓商人等に掛賣を爲さゞることに決議を爲したるは事實なり而れども开を勵行するは只韓商中の不信用者に對してのみにして一般商界に信用を有する者に對して之を勵行するに非ず甚だ申惡くきことながら淸國商人が斯る非常の手段を採るに至りたるは万止むを得ざるに出でたることにて其次第は昨舊年末の調査に因れば韓商對淸商の賣掛代金不拂高は約五十万圓に達し或淸商の如きは韓商に對し賣掛代金請求の訴訟を起したるものあれども其結果は只費用損となり何等得る所なくして了れり斯る始末なれば今回淸商の韓商に對して採りたる手段は稍過激に失するが如き觀あるも實情を知られたる上は諒とせらるゝなるべし尙決議勵行の期間は必要に應じて伸縮すべしと云々

◎朝鮮南海岸の海苔業 韓國南海岸突山、莞島、珍島、智島各郡に屬する群島に於ける海苔業は今や盛期に入りたるが此地方に產する海苔は品質大に良好なるも韓人の事とて製法粗雜にして細斷せざる爲め或部分は厚く或部分は淺き切れあり且つ稚介岩石の細片附着し或は海羅苔を混じ色澤も亦不良なれども其香味は外觀の粗惡とは反對にして若し製法に留意し改良を施さば良好の逸品を作り出すを得べく大に有利有望の事業なりと云ふ

●全羅北道の米產出額 全羅北道全州觀察道にては昨年十二月末現在の全州觀察道管內二十八郡の農業者を調査中なりしが今其結果を聞くに全北二十八郡の韓人農業者總數は十萬八千五百九十五名にして是等農業者の耕作に係る米の數量は八十萬六千二百石なりとのことなり

●義生盛新築の宴 南大門通りの淸商義生盛號新築披露の宴は一昨夜其樓上に於て開かれたるが出席者は邦人官吏實業家新聞記者等二十余名淸人は馬總領事及館員民長等四十余名にして支那式晚餐及び花月舞妓の餘興ありて極めて盛會なりしと云ふ

◎殉職巡查へ賜金 暴徒討伐中不幸毒刃に殪れたる殉職巡查の遺族に對し昨二十六日附を以て左の如く賜金ありたり

金二千五百圓 故巡查澤畑次郞妻キツ
金二千圓 同 肥後次郞妻シナ
金五百五十圓 同 成弼永妻金召史

◎木內次官の出張 木內農商工部次官は平壤鑛業所視察の爲め黑岩鑛務局長を隨へ近々出張する筈なるが一昨夜來京したる和田工學博士をも同行する筈なりと云へり

●大每社員の交代 大阪每日新聞當地特派員たりし羽田浪之紹氏は昨夜出發本社に歸り來七月頃バルカン半島に赴くべく艱に上京せし稻崎觀一氏は其後任として來着す

●表勳院總裁交迭 表勳院總裁李載克氏は此程辭表を提出したるに依り前軍部大臣趙義淵氏之れが後任に內定したりと云ふ

●前製鍊所長入京 前若松製鍊所長工學博士和田維四郞氏は一昨夜來京したりさ

◎外國語學卒業式 官立外國語學校は昨日午後一時より卒業證書授與式を擧行せり

◎家庭新聞の發行 來る四月五日より龍山元町に於て韓國家庭新聞を發行すべしと

●獨乙總領事訪問 獨乙總領事代理ドクトル、ウエンジユ氏は廿七日統監府を訪問

本日の集會

▲旭町四丁目京城日本基督敎會にては午前九時より日曜學校を開始し同十時禮拜說敎「耶蘇の孝道」石原牧師午後七時傳道說敎「人類の價値」同上

▲日之出町京城基督敎會にては午前九時三十分日曜學校を開始す同十分半禮拜說敎「神と人の契合」米澤牧師午後八時半より「舊約全書槪論」同上

▲長谷川町西本願寺に於ては午後八時より殿開敎使の說敎ありて傍聽隨意なりと

公人私人

▲豐田明敬(慶尙農銀副支配人)廿六日入京
▲染谷濱七(海州製粉會社取締)同上
▲小原省三郞(大藏省技師)二十六日退京
▲有賀光豐(鎭南浦稅關長)一昨釜山に向ふ

◎近事片々

▲李完用君近來頻に懷柔策を行ふ宋秉畯に太子少師を讓り趙義淵の推薦等甚だ勤む
▲從來の政客を漸次に懷柔する手際は聊か凄味あり其懷柔伊公の道口よりも辛辣也
▲渠の凄腕は亡命連より耶蘇一派に迄及ぶ殊に排日派と云ふ連中迄も包容する乎
▲斯くして自己立脚の地盤を鞏固にせんとする手際は一の輕業を見るの趣きある也
▲能く泳ぐものは溺れ猿も木より落つとかや此藝當首尾能く勤め果せるかは見物也
▲惜むらくは渠未だ政治の眞意を悟らざるの憾なしとせず渠の長所は唯夫れ謀略乎
▲謀略のみの政治は到底長く續かず異に地盤を鞏めんとせば正義を確とするを要す
▲年中自己の位置の爲に汲々たるは丈夫の事に非ず須く高所に瞩目せざる可らず
▲副統監近來執務に勵精なりと聞く其成蹟の見るべきもの或は近き將來にあらん乎
▲果して之を事實とすれば甚だ喜ばしき事なるが何となく危まるゝ心地するは非乎
▲從來も斯る說は度々聞きたりしが未だ其實現を見ざるを以て世人は甚だ氣遣ふ也
▲願はくば副統監たるもの玆一番奮起して統監政治の振盛を計られよ之れ世の囑望
▲東拓會社も創業の事とは云ひながら何だか其爲す事が緩慢なるが如きは何の爲乎
▲宇佐川總裁も吉原副總裁も好人物なるが唯好人物のみ丈けでは事業は擧らざる也
▲其他部下に適物なきに非ざるも何となく官臭を帶ひて實務には一寸不向の人多し
▲必ずや近き將來に於て此等の評も定らんが片々の苦言或は適中するやも知れざる也
▲望む處は今に於て大に戒飾して適材を適所に活動せしむるの方針を取られたき也
▲又新會も戊申俱樂部も進步黨も同樣に內輪揉めあり大同獨り落付き拂ふ面黑し
▲大同の如き官僚黨は議論も何もない唯利のある處につけば可也佛も困つた組合也

雜報

●新曲富の源

左の一篇新曲富の源といふは西湖先生の新作に係るものにして芳村家元七代目伊三郎の作曲に成るものなるが來る二十九日巴城館に開催すべき當地長唄嗜好會に於て演奏する由

本調子「うら〳〵と合砂糖のれこりたづぬれば「近き昔のそれまでは合唐天竺も西洋も合砂糖といふものなかりけりあま茶の汁に柿に飴それにてうま味を合付けしとか「降て中古に至りては合今の朝鮮亞弗利加と同じくにはちみつまんまでまかなへり「我朝にては慶長元和の頃にして八代將軍有德公の御ときに合琉球國よりその種を取寄られてところかまわず國々へ植付られし其果ては「砂糖作るなら孤から作れ合砂糖すんだら孤かふれヤアトセ〳〵「唄ひはやすに絡りしは是にかなふの土地氣候調への不足にもとづけり「帝國產地の主なるは合讃岐の國と知られたり合砂糖もわたかゞ世の中の合人のわかちと異ならず白人と黑人の二つにて合黑は二分半とはかりの二つに分たれて二上り「白は白下のけたしなる焚込み香込み丸込を合除きてあとは雪三盆合雪にちなみて名つけたる三本松の上中下これは昔の稱へなり「さら〳〵砂糖の消費にて國の進步の度合をはかり知る事出來るとは「文明國の人々のほこりとのふるところなり合今や進みに進む我國か合一等國の仲間に一人て立つは合一人とはいりはしたれども一人て立つはあたりか三十をとなへるまではなしわのすこしならぬそへ合土地と氣候を先づためし合種をゑらびて砂糖の合きびや合あまの菜を「植てひろめて大君の「惠みの露に養はれとしの庫入五千万す〳〵めや進め彼の岸につけよ戾らす彼の岸に合御國の富をいのれ諸

上役の分取主義

（拓東）

▲不公平なる配給▼

▲可憐なる〇〇骨▼

勤儉主義の總裁を戴いて居る東拓殖會社の上役連に對して分取主義だなどとは持つての外、不都合だ不思議に思ずる人もあるか知れぬが我輩の見る處では什うしても僻うことゝ思へぬのである試みに見よ年俸三千圓の〇〇が一躍して拓殖會社の總〇〇なつて宇佐川氏の收入は幾何ぞ▲年俸六千圓の外重役手當として同しく六千余圓併せて一萬八千余圓それに利益の一割を分割するといふのではないか然らば

▲副總裁の收入 は什うであろうふこれとても矢張總裁に準じた收入がある跡にヨボ副總裁の如き同じく重役手當を給せられて一ヶ年の收入一万余圓とは驚いた次第である然るに

▲事務員の俸給 は或る上系統の二三と近頃採用したる某とを除くの外は悉く數割を低減せられて殆んど相應の生活を營むこと能はざる程の薄給なりとは何んぼう可憐の次第ではあるまいか今此處に假りに彼等の

▲舍宅料を標準 として其餘りに不公平の配給例である事を證しやう當初重役から課長迄は一ヶ月年俸の四分五厘といふ定めであつたが其後改正せられて總裁は百五十圓他は百三十圓課長は七十圓調査役は三十五圓若くば四十圓參事は二十圓若くば十五圓書記は十圓八圓六圓雇は四圓といふやうになつた何故に斯くも多くの階級を要するやは別問題として舊給與例に依つては五十餘圓の舍宅料を受けて居た課長が改正給與例により二十圓を增して七十圓の舍宅料を受くるやうになつたにも拘らず下給雇員等に至りては別に半文の增給をも見る事が出來なかつたではないか是れ全く某課長の奸策になる立案が不幸にして不明の内に通過したるが爲めのみ我輩は以下此等の萬骨が如何に可憐なる地位に呻吟しつゝあるかを紹介やう(つゞく)

●流も敢へぬ戀の柵

引掛つては詮術無矣

生れは長崎縣大村在の人當時京城は大和町あたりに下宿住まひの統監府〇〇管理局員假りの名横井某(三八)と云ふは東京某專門學校を卒業して國には既に歷とした妻子のある身なるにも拘らず何を狂ふか狂るい駒のつなぎとめん由もなき今日此頃の廓通ひ誰れいふとなくうろの長官の耳にも入りて再三不心得を諭されたれども一度び引掛つた戀の柵は流れて去なん詮術もなく尙は猶りすまに新町へのみ浮かれる心の際限なしとは苦々しき事にこそさてもかくまで橫井某を逆上せしめたる對手の女は誰れなるかと聞くに之は又た意外とも意外の限りにて新町にてさる樓ありとも何とも聞き及びたる事さへなき〇〇樓の桃介なりとはテモ扨ても蓼喰ふ虫の好不好とは言ひながらなんぼう底氣味惡き桃ちやんの辣腕にあらずやとの投書のまゝを書くの如し

●深夜の悲鳴

一昨夜午前一時頃の事なり本町二丁目四ヶ所商店前の街路に當り突然消魂しき女の悲鳴するより何事ならんと驅け付け見れば悲鳴の主は年の頃二十二三とも覺しき丸髷の美人にて婀娜たる躰軀を三十五六ばかりなる洋服姿の男の毆くに委せつゝ何事をか佗び入りつゝも悲鳴を舉げて泣くなりけり去れども男は容赦もなく亂打の腕を舉げて「亭主の顏へ泥を塗りながら寬恕せよとは何事ぞ」と打ち罵りつゝやがて美人の襟上を捕へつゝ滿國領事館通へ引きずり行きたるが何か仔細ありげなる男女の喧嘩とて其儘に見逃したるが跡は唯だ女の悲鳴の絕へ〴〵に暗を傳うて響くのみなりき

●地方傳染病狀況

平安北道熙川郡杏川里憲兵分隊にては三月十一日より十六日に亘り管內の種痘を施行したるが其人員男三三五、女一七四人にして初發以來の患者數は二三人なり而して一般に接種を忌避し石船里の如きは種痘せんとするも皆無の有様なりしも懇々其必要を說き漸次接種せしめたりと其忌避の原因は一度罹病したる者は再び罹ることなしと信ずる者、種痘せば多額の費用を徵收せらるゝと誤解せる者、韓國の習慣として一般婦人は男子殊に憲兵巡査等立會の場所を嫌ふにあり而して現に天然痘に罹り居るものも隱蔽して之を云はず各々臨檢の結果二名の患者を發見せりと又平安道谷山郡西村面樓川洞に傳染病的疾病の生じ民等は暗に信を置き居るも發生以來十六名の患者中已に三名の死亡者を出し腸窒扶斯の疑あるを以て大水口洞憲兵分遣隊にては洞長等を督して極力豫防に務め交通を遮斷し一方韓醫に投藥せしめつゝあるも今に全快せるものなしと因に同村は廿七戶二百口の一部落なり

●長唄會演奏組番

於巴城館二十九日開催

曲目	出演
不動	唄 木下さく子　同 松本まき子　三味線 藤本きく代
鞍馬山	唄 靜波　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎　同 和田すゑ子
菖蒲浴衣	唄 木森のぶ子　同 藤井すゑ子　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎　同 和田まつ子
勸進帳	唄 朧月　同 春野　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎　同 和田すゑ子　同 和田まつ子
ゐこしの橋	唄 岡田鬼千代　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎　同 藤本きく代
綱之館の段	唄 大島あさ子　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎
蓬萊	唄 大内ゑん子　同 鰺澤千代子　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎　同 竹若たみ子
俄獅子	唄 岡本みね子　同 田中まね子　同 和田すゑ子　三味線 中澤なら枝
新曲富之源（西湖先生作）	唄 鰺澤千代子　同 岡田鬼千代　同 大内ゑん子　三味線 芳村家元　同 芳村伊三郎　同 和田すゑ子　同 和田まつ子

●誘拐者引致さる

仁川京町二丁目居住美濃德松は昨年八月二十九日大阪北區兎我町田端常吉の長女みね(十六)を誘拐し來り京畿道安城市場武藤安太郎方へ酌婦に賣り飛ばし又十一日中大阪に歸り常吉よりみねを返すと稱して木綿綿入外四點を詐取したること此程に至り常吉の知る所となり起訴したれば仁川署にては德松を引致取調べの上昨日檢事局に送りたり

●荷馬車に轢かる

昨日午前十時四十分頃京城古市町三丁目十一番戶運送業小玉順藏方雇人尾崎米藏(三十)が韓人金聖學を指揮して杉板を滿載せる荷馬車を牽かしめ本町二丁目より南山町一丁目へ入らんとする際路傍に避け居たる數人の通行人中南山町二丁目百五十六番戶雜貨商玉井武雄方雇人新莊一吉(二十九)南山町三丁目二十九石工中瀨直三郎長男安一(五)及同人方雇人韓人金鎭國の三名は車輪に觸れて顚倒し頭部及足等に數ヶ所の擦過傷を受けて一時は非常の混雜を極めたるが元來過失より起りし事とて尾崎は中瀨に對して入院治療費二十圓五十錢新莊に對して三圓の藥價料を支辨して事濟みとなれり

●新町の檢梅

一昨日の檢黴にて新に入院したるは京城樓花子●第一樓春香●第一樓支店紅梅●月下樓の喜蝶●南山樓初音の五名なり

●敷島遊廓の檢黴

仁川敷島遊廓特別藝妓の身体檢は昨日勵行せられたるが其の結果を聞くに入院を命ぜられたるものは吾妻樓の小稲●洗滌を受けたるものは朝日樓の吉彌●千代●吾妻樓の嘉代●第二高砂樓の三島●等にして退院したるものは朝日樓のトンコ●吾妻樓の雛鶴●の二名なりしと

●粹界小言

毎夜れ茶引く特別女郎衆店の火鉢に額を鳩めて小言なにかと聞いても見れば待てどスーチャン鼬の道で座り流しの膝先き痛み艶通客にはれ多福女郎と惡口叩かれ拙てひやかされ睡の涙の泣き顏見せて小遣ひねだりの魔術も出來ず高い税金納めにやならぬ身柄年期は增さねばならぬ「こ草ゑ崩れたつゝ此頃をきりとては色好みの醉客も少なきにや誤愁傷の至りに候▲破ぶれ三味線音じめが惡い如何したものかと藝者に問へば不景氣續きでれ客がないのでポチがないので張り更へ料がオマヘンサカイの小言に御座候

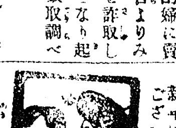
●演藝

●壽座●の新劇合同劇は初日以來非常の好人氣にて每日札止めの盛況を呈し居る由なるが本日の替り狂言は熱題●側面觀●にして其重なる役割は左の如し

新山忠雄(西)坂本喜三郎(池田)熊五郎女房れ光(日東)熊五郎(稻葉)憲兵大尉坂本繁三(三輪)

●韓語獨習

日語	韓語
今年は、全羅道にれ行きになりませんか	クムニョーヌン、チュルラトーエ、アン、カーショ
去年往きました	コーニョン、エカッタ
新年はいかゞですか	サイハイ、ヌンオツトショ
新年はれ目出度うございます	フワヌセーアルリヨンク、ハシヨ



◀平民文庫▶

▲叢理大臣利肝要の辭表沙汰は何んと成つたのかヨボの爲る事は孤を馬に乘せた樣で頗珍韓のれ國風には呆れて物が申されません(蝙蝠野郎)●▲此程の春雨は何んとなく嬉しかつた鶯の聲は聞かずとも梅ヶ香は襲はずとも僕は終日獨酌に暮らして仕舞つたソシテ翠朝の八時頃まで何にも白川夜船で心地よく寢入り込んだ(うを)●▲壽座に於ける新劇合同劇を歡迎す(劇狂)●▲貴紙平民文庫は大に非統監政治愉絕快絕(賛成)●▲諸君の應援によりてです(係)▲朝鮮新聞社の方達は西萬兵衛君を振付けとして演劇の稽古中だが必ず好成績に相違ない貴社の人達も一つ奮發して行つたらどうです(食慶生)▲ヘツ私の所の人達に其樣な器用な人間は居ないのですよ氣の毒な程無器用なのですれ笑ひ下さい(小僧)●▲何うも出洒張るんで困ります小僧の申す程無技でもないのですがね(係)▲左樣なら行つて御覽なさい(小僧)▲ボカ〳〵(係)▲或る官衙の電話局員さん竹園町の電柱に花園支云々の木札は相違ではなきや(通行人)▲或る官衙の受付小僧に一ヶ月中登廳者の多き日は何日なりやと聞いたれば夫れは月給日だと云ふから何故だと聞いたら同日は定員の官吏は勿論其の以外各商店の番頭迄が月給取に來るからさ(聞た人)▲自分は日頃はペ〳〵商人だが官吏の月給日に應接室に銀行運を呼び付けて事務査掛金の督促する時丈は確かに課長以上の資格があると思ふ(番頭)▲日頃掛長には心配あるが給料日の掛帳には一段恐れ入るとは銀筋連の泣言(同上)▲看護婦が病人早や全癒して解雇されし上も係はらず一日越か二日越しに來て泊つて歸る家があるが何の爲めだらう(ハテナ)▲模範店員投票愈々佳境に入れり私は京の藤村さんを一等に當撰させたい(付丸居造)▲御社の近所に支那人專門の淫賣屋が出來ましたが御存じですか(注意生)▲いゝかいゝかセイカ內地の新聞を見ると情死や人殺しの七つ八つないことはないですね(采女)

天氣豫報

(自廿六日午後六時至廿七日午後六時)

南鮮地

廿五日　最高溫度(華氏)三七、四　最低溫度　二三、一

本日午前六時の氣象概況　高氣壓は韓國南部にありて南東風吹き西岸は曇天其他は晴天なり

▲無料紹介欄▼

人事部

求職 英韓語及簿記に熟達す官衙會社商店事務に經驗あり身元確實 新橋通一ノ一津方 伊藤睦治

裁縫、刺繍、編物、造花、摘紅工等御望みに應じ教授申候 大和町二丁目百六十八 技藝女塾(一九九)

山口縣人豐川常之進氏の消息を知りたし御承知の方は當欄迄御通知被下度候 姓名在社(二〇二)

下女入用 身体強健なる者月俸金拾圓迄ご給與す 姓名在社(二〇五)

店員入用 商業に經驗有る者履物業に從事したる人なれば猶宜し 本町五井上履物店(二〇六)

物件部

呼よき電話譲渡 たし 社内中村

貸地 旭町一丁目見晴よき地四十坪あり 京城清國領事館通 清韓洋行

電話譲渡したし 本町二丁目 小川勝平事務所

電話譲受けたし 本町一丁目 小川勝平事務所(一九八)

工業用水揚ポンプ一臺賣渡し及貸し付けたし 長谷川町一丁目矢橋商店(二〇〇)

本町六七丁目近方にて毎夜二時間位英語を教授なさる方なしや 姓名在社(二〇三)

大阪朝日又は東京朝日新聞昨年の小説三四郎九月一〇日迄の分持合はせ讓與願ひたし 大和町二の三八 三笠(二〇四)

廣告

履物卸賣商

越 大阪市東區南本町御堂筋 太田宇兵衛商店

營業品種目 表花緒類 鼻緒類 裏スリッパ 爪掛 類緒鳴品各種 誠實勉强營業

電話(長)東一三九二番 電略(〇ヲク) (振替貯金口座 大阪五六四番)

診察所 京城理事廳前電話八八〇番

池田内科小兒科醫院

療養所 旭町二丁目白耳義領事館隣 (元伊國領事カサチ氏跡)

統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院内科主任 池田季雄

鴨綠江特種木材 九州セメント取次販賣

末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材 京城旭町三丁目

建築業 柴田芝六 電話五六八番

諸傘 印入並に提灯類

和洋蠟燭あり

京城明治町一丁目 大島商店

小食堂開始

◎輕便にして佳味なり◎

入口は京城ホテル裏通りにあり

◎洋室日本室の設備あり◉

元日本人倶樂部

京城ホテル小食堂

長電話一二三番

齒科治療

女子見習生募集委細面談

本町六丁目 ドクトル 中村安子 (藪そば横町)

開店五週年に付大賣出し

謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候



美術書畫 襖、壁、天井張

京城壽町二丁目 桂萬吉

官營無煙炭大々的直下

一塊炭 一噸(十二俵) 九圓九十錢 但弊店渡し

一切込炭 一噸(十二俵) 八圓五十錢 但弊店渡し

御屆けすれば持込賃貸及叺代又は叺損料申受け候其筋の御指定に依り右の通り直下げ致し尚ほ當内各所に申込所設置仕候御便宜の場所へ御申込被下度自然前記價格より高價の申出てを爲す者あるも指定價格通り御仕拂可被下候也

平壤官營無煙炭特許一手販賣人

南大門外古市町西裏通

苫米地(トマベチ)造酒彌(ミキヤ)

診療開始

弊院曩きに類燒の災に罹り休業中の處這般南山町二丁目植村病院全部を讓受け三月一日より診療開始仕候

南山町二丁目 植村病院跡

電話六七五番

松岡醫院

新荷到着

芳醇無比 ★札幌ビール

各特約店並に各販賣所にて賣出候間御用被仰附度候

京城曙町(電話六六四番)

統監府御用 宮内府御用

軸物 表裝 金銀屛風 額面 襖壹式 壁張 天井張

扇川表具店

公債 貯蓄 勸業 債券讓受

御不用の御方は各號共精々高價申受くべく候

京城長谷川町二丁目 富田屋内 宮七二藤

肴四品 ビール一本 金一圓

頗るハイカラの酌婦付

明治町二丁目 富士材木店横入

鹿島



仁川支店

熊心單志多年爲所遂蘊奧故鑑定 學術、相術、運命判斷 ...

易斷 相談 授 通信判斷

京城本町五丁目 三二一館

一件一圓 特別二圓

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸 横小路 (元 花屋 跡)

かめ屋

懸切の下宿

銘茶卸小賣

(京城本町五丁目)

純良 乳

牛乳元祖

京城大和町一丁目 平山牧場

電話百三十三番

大見切賣

金口卷莨各種 エヂフト卷莨

弊店儀營業上の都合に依り來る二十五日より三月三十一日迄(卅五日間)現在品悉皆各國産煙草大見切安直を以て(但し現金)御高需に應じ候間此際陸續御用命の程奉願候

二月二日



各位

本町一丁目 トルコ煙草商 日希商會

明治廿年創立資本金一千萬圓

日本國火災保險業の嚆矢

東京火災保險株式會社

代辨店 山口呉服店

事務所 京城本町二の三電話九番

營業科目

諸官衙御用品調達 和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 各學校御用品調達

委託販賣

東京 ランバーグ商會代理店

東京 中外アスファルト株式會社代理店

東京 千代田生命保險相互會社代理店

東京 博文館發行書籍特約店

東京 金港堂發行書籍特約店

釜山 臺灣合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番

出張所 東京京橋區...一丁目十...番地 電話新橋三九六二

大 人 萬

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

和洋酒、回精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、壜辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

(電話二五一番)

青々園

風味趣味實質の三者を兼備す

正銘宇治茶京都の茶器

故に尤も進物用に適當なり

茶及茶器商 京城本町四丁目 青々園茶舖

◉氣候變化=牛乳

◉牛乳=純良=消毒

韓國畜産株式會社

南大門外(電話八八番)

統監府御用

諸官衙人力車

荷物荷造及運搬

營業 京城曙町(電話七三番)

本店 同本町三丁目(電話四〇番)

伊藤組

純 洋 牛乳 種 良

京城 南大門 外 南 大 井 牧場

取次 電話七...

日本郵船會社 仁川出帆廣告 汽船

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店 電話三...番

●大連行(船客御斷) 新潟丸 三月 日正午時出

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月 十一日後三時出

●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月 廿二日正午時出

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 三月 三十日前五時出

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月 八日正午出

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月 七日午後

注意 御乘船ノ際ハ飛瀨波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候波止場迄ノ迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一ヶ月前金五十錢 一ヶ月前金(?)

●廣告料 五號活字十九字詰一行 ...

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬

發行所 京城...門通 朝鮮新報社 電話六六三